

# 地域発！みんなでつくる再生可能エネルギー「奈良モデル」づくり

イベントの  
延べ参加者数 348人

自然エネルギー学校・  
なら2015 修了生 21人

活動の全体目標  
に対する達成度 50%



自然エネルギー学校・なら2015 (第2回)

## ◆成果と工夫したポイント

- 成果** 1自治体から太陽光発電住宅用モデルプラン選定委員会委員に委嘱され、小水力発電事業が1地域で工事着手。行政とNPO等との研究会を5回開催しのべ128名が出席。再エネの活用を図る人材が21名育成された。
- 工夫** 複数回の研究会で、行政と顔の見える関係になった。人材育成の内容を要望の高い木質バイオマスに設定した。

## 課題

奈良県山間地の過疎、高齢化、耕作放棄地の増加、森林荒廃、産業の活力低下やエネルギーセキュリティーから、再生可能エネルギー導入が課題解決に向けた有効な手立てになる。

## 活動内容

- ①「奈良モデルづくりプロジェクト」は、地域協働型再エネ事業の実現を目指す研究会を5回開催。山間地域活性化につながる、再エネ発電の事業化を支援するための人員支援・派遣、普及啓発活動。
- ②地域での人材育成を目的に、「自然エネルギー学校・なら2015」を4回シリーズで開講。
- ③県及び県内市町村、NPOや研究者等によるネットワーク形成と、協働の深化を目的とする「ならエネルギーフォーラム」を2回開催。



活動報告書(自然エネルギー学校のページ)

## 今後の課題

再エネを取り巻く情勢の変化が速く、太陽光発電はFIT制度の買取価格の低下で、組立ての工夫が必要。学校の人数は昨年度16名、今年度21名になったため、地域で核になる人材としてネットワークでつなげていきたい。